說社

増税ご決戦生活の確立

年度収入として確定された数学 され級上げ實施により強領と は事實上不年化されることにな

> 常税の 軍艦級が如何に 重いがを をり、右三税目に集中せられた

> > となるものは直接税の増設であ

殿論からすれば特に將來問題

う。

相が今職會で一百七十億貯蓄を

期した際に用いた言葉である

う。右三税を中心として閻接

真税に於て平年度一千八百七十

かしてゐるものであったといへ

のは大きい意味を持つてをる。 圏の増収が最高となってある

に當つて深くおへなければなら ないことばそれが直接取時財政

中一日 大量 高級家レた、メキシコが搬兵を費用 日本 と 高級家レた、メキシコが搬兵を費用 である の名類を行うた 東北 中国 かんのはこれが最初である 【プエノスアイレス一白同盟】

瀬岡國の存せてをらる、この総大、あげて戦闘してゐる水質である。

なる協力に対しては祇園は朝野を

建國・周年をかしたのである。

勝利獲得へ邁進

張國務總理演說要旨

通りで、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、

本日わが満洲関の建國記念

四長官、勿族が削より松平

刊新社論評本日

戰争と經濟政策

和經濟政策學會 編

(A 5 別遊製芸○ 夏 ・三〇 宏・三〇

総合計職とに置り、本処會の機爭に剥する場合的研究の緩かし言反映である。 郷・標満政策総議・農業・工業・商業・金融、支加・東証の諸部門と第門別の資本・建設政策議論・農業・工業・商業・金融、支加・東証の諸部門と第門別の資本・経済政策閣

政學概論

江澤讓爾

(例:1○ 送·一面

議會展望

により一日午後五時より院 東京電話】松工遊族院議長 し政府語待職整會を開催、

政府招待會

とは合い

保

險

學

總

論

小鳥昌太郎著

今週中に 一全案を議

るといる迅速搬職がリを示し瞬間を通じてはすでに七十四年を成立となる。

刑事法案一件となるわけであるが、同家に勤しては二日午前十二

敵の隱匿武器を發掘する皇軍勇士

重慶援助は困難

アメリカ軍事記者指摘

灼

熱の

・ラの苦力

てーチリストにご書へよりこの著名なジ

朝野を擧げ 建國から固さ 德一心

日滿交職放送 東條首相演說要旨

かはしず官民一致協力強ス無戦す

(新泉一日同盟) 大東亞戰下再

全滿をあげ建國節を慶祝

なすところである。瀬浦事様にある浩園のこの与へな主導 、東亞版等にまで進展新したの

でむ東亜の機能は悉く県軍の自然

蔣政權抗戦の目標を失ふ

南京一日同盟】支那派濫運本年 の綜合戰果

租界返還とその後の影響 は抗戦の目標を失はしめるに至一

部に甘及日公報をもつてドバー海 要、補給船一隻、快速艇

獨の快速艇隊活躍

荒鷲モレスビーも爆撃

推腸のツラギならびにニューギエヤのボートモレスピーを影響した国際表した リスポン廿八日同盟』メルボルン來館=西南太平洋反播輸軍司令部は日本航空部隊が廿八日ノロモ

在滿人《同扱ひ

けふの兩院

ら皆然とこに増税による税收の

損害四萬二千餘



| を命す | 一発任本府技師(二等)整務|

大東亞省解令(一月) 期鮮總督后道文師

者に ます。

全

が北上巻

随詩詩 華旗篇 篇 | 【

オへの空の旅 本級子寶

對潜水艦に新戦術

米英海空軍を配備

社生育

閣道弘

外鞭の赤色

時間報局は開職以來の米陸軍長員 | 「フェノスアイレス廿八日同盟 | の観黙を秘婆した、但し茶園政府 米陸軍小出しに發表

から蓋に時日も經過したのち、し

新 史研究 教 浄 瑠璃

青木大東亞相挨拶

左の如き挨拶を行つた て青木大東照相は要旨 で催された『満洲國型

確立に向けられてゐるといると 中郷極所颁算は十七年度十一億 鑑と 解すべきもの である。 億七千五百萬風に路風飛躍し、 こともまた明かである。 増加を期待し深ければならない 一切は必勝の一颗に結集せられ

一松氏・半島同胞で薬州に居住してゐるものは可なりの数字になると、朝鮮では復長制を實施する当になったがごれら

早く正しい賦態征服の道によりて

刊近·刊新

書 北條九代記 繁尾雨工者 1.00 元日間の教へ子 済本 浩著 2.10 元日間の教へ子 済本 浩著 2.10 元年 1.00 元日間の教へ子 済本 浩著 2.10 元年 1.00 元 を法人公とし、配するに高島政府、高朝是美術小説、幕末大調・大調・大調・大調・株 ・投渉単山を以てした著下し長輩小殿。 ・1五年 第一・三〇 無限につらなる自然の生活

國體

こ道義半島

輸送船舶の手配濟

土國の此 空の此 お護で力線 布價

格三 15 9 数 0 1 x 0 1 x 0 败 大• 髙 鶋• 據 华•山 釜•津 潤•暖 京

商工省事務官

場懇談を開

翼政で政府に要望

戦力增强議員奉公隊

朝鮮文人報國

會(編)の旗印

町 内 愛 國 研 内 愛 國 研 て最適で御座居ます

ンメは 用 **熊** 战株 府 城 京 社會 目丁二町本

と俳句

(1)

五十六圓九十八錢

頑張れ示せ國民の底力

九萬三千五百

決戦

決戦

え者で日本的自覚が 理論 ※素 **党** 難 春波 表面 夫田

第六期決算公告

Ę 迪 大·天 華·原 新 · 光 · 山 醫·吳

但シ指定席ハ有リマセン當日賣 リノ混雑チ避ケル爲メ前賣致シ マス(當日賣モ御座イマス) 「二階・一等席」「画句」 「二階・一等席」「画句」 「二階・一等席」「画句」 「一等」「一等」「一個」

三月二日沿頭開場

師 弘 子 産

名除十五

班團

談師技田千

避興飲食税の場合罰金六倍

不遇な子弟に春

岩源清

」原がニ

集

1 十七級 以下 一 十人級 以下 一

新學期から

愈よ實施

舟艇群忽ち潰滅

が必殺の急降下爆撃

次確池口(石首四方約四十キ

敵撃滅へ火の玉

3

一、赴任方法

金をいはし

京線域域

募

集

業紹

介

所

らって 網や資金 局を敷養させてゐるが、一日更に



随業所東京市芝區新橋 ・電話芝(43)-0欧浦・計断番

科外科科例











御厚誼を確定を確定を 拜五立

山兄弟 酺 子彌彌 吉會

榯

荷性には

粉白水堂生資

週滑を圖り度候間御利用場り度では本組合派出所を新設教し嚢では本組合派出所を新設教し嚢では一種以、取扱所・新設 東京沈公徽善 以宿忠累月呻吟 水訣式 三月四日午前十一 雅 地 光州府泉町 雅 地 光州府泉町

健全に

へる温

にと生氣が刺、威揚精神も烈々たる陰凝餓成の第一切が力强くも嫉恨な大地を踏んで日頃より一時間早く出動、天久の復居、

初日の感想を聴

が電施した 「頭側物 緊張現化薬」一ケ月間の諸行事を終了したが一部場が同の影響を目指して悪信局」の理解により二月廿八日を以う 事故ぐんと減少 郵便物愛護週間、多大の收穫

資政策記學院

【北水】邑海陸物産小質的組合で





京城府崇國町一三五番地

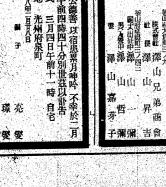


科技工 校館 (原城町)

工員緊急票据政司

植燮燮燮

三輪郎合



京城 樂國町

さあ足並揃

時ではさるころから、深中の新町豊地元をこの新町豊地で、新穂新の町町の下舗、研萄集務ので高層になど、新穂新の町町、大戸敷積から近日戸を城山とした小町曽町に町、一路ではつきた。

誠の花束

同志の歌 (11)

人いなる祭

[83] 中野

悌吉(繪) 實(作)

總額

百萬圓

都市防衞ほか五項目に重點

語京城豫算府會開

防空防避(際時節

道の交通對策打合會 な緩和

京日寒火

一 京城上城市 州

明月は成立日本は「日本ので、人人工学」は「日本のでは、日本の w A Man

時計修繕繁奏集 4 日本ニュースは新版 日本ニュースは新版 利 十・九 年 日本ニュースは新版 日本ニューの 年 日 日本ニュースは新版 日本ニュースは新版 日本ニュースは新版 日本ニュースは新版 日本ニュースは新版 日本に日本に 若楊以化文日京(座)治 明 場劇化文路鍾

甲斐計理士

整理発生ス

の歌舞を中心に造成することに の場所、即ち博士の生地と解 られる事南の最域南路西の破 した極水は玉に博士の建 青年隊員の赤畝で **新店街运送客查會**

T

王仁博士の碑に櫻花 扶餘に薫る青年隊員の赤誠

【大田】さる心忠関

全羅へ三物質委員

《天政省》—日本助業銀行發表)

ルニ石サ月ルソ教ニ山 大学日田九ココ海地 シテ日田九ココ海地 ・バンテ日リリ海 其二日午其公男 基 近年八月七日
火災保険保 年 世 里 平 本方日 1五曜日

和十六年八 二電優工業 等批別計組 大中さん大用・一番・バーカーを 囄、 深蒙岛东-和北京家安里 作細工%等採用 中的細工%等採用 東 業 南 工社 東 業 南 工社 安子販賣係採用 安子販賣係採用 安子販賣係採用 本 女中さん入用 大中さん入用

醫型**姜乾夏**

ш́ 開始では 一本ニュース 環境では 環境では 環境である。 男易郎 京龍、樂《喜場別洋東

智雪今二百元 小の れの 人 一番ラー 晴日ユ 一般人。れの 光神の解衝戦 港 道ひス 座 富 新 舘 花 浪 場 劇 陸 大

場劇花桃座

の戦ひを勝ち抜くためには銃災

の戦だ、國威の際皆を静けた

京旅府南大門通五十(京城駅前)

て新發足

の整備に至便な数を多く見出してゐるが、京破に飲め、通達事務の職化を題ると我に配給募務 小町會制

愈よ四月一日から

何掃は心の淨め

一月の實踐

旅館 類 無明 企業許可不要 中央談験所検査済中央談験所検査済 が、大阪

東田田二年が日中 双テス陽十ル文 ラ常へ利月二人 宣すシテニ因ョ正

る優に蘇石灌洗ダーソイセカ 品表代的策團 35名くすむレゴヨの油もミシなんとくあち立足

は 一日 可り 五日 マンス で 一日 可り 五日 マンス 一日 可り 五日 マンス 一日 一日 可り 五日 マンス 一日 一日 可り 五日 マンス コート アンス コート マンス コート アンス アンス コート ア

場別央中場別南城制

會 商 井 新 地爾九二一可與阿府城京 國八十九。國門化光 記電 相片〇〇九一城県座口谷城

單一般為

的碎機 (全角層)

大阪 | 販売権・獲得する | 国策製品の子) | 国策製品の子) | 大阪

調要解數

舘畵映信和

| できない 五、以光立数要为山

戰於 昭 日

【副店

丁子被服會社

ジャワ軍政一箇年の回顧

雄大な構想に蘇る

民衆、我に全幅的信賴

日氏に協し以來中央、地方の機

ジャワ軍政の特異

御院軍戸口駆役長 ・ 院軍少務 - 親澤 - 代向信

柯人留米第一陸軍務備士官原

河田末三郎

尔大佐 加滕 俊雄

ゐる、ソ戦災の概然な攻撃は緩緩

郁陸聖省兵務局長

嚴寒の北洋を征く我艦隊の對空員(繼龍灣河灣)電送

大法案たる戦時行政特別議会
改議院本官総は今期職官の並
を議会の仕上げを総言、一日の (東京部語) 脳音のひよいよ

を通過成立した法律家はすで

日發』ビシーはトランステツ

際は奈る九日午前九時ムツンリ

伊重要閣議

陸軍異動評

満洲國皇帝陛下に 事變從軍記章・

けふ嚴かに捧呈式

搬売のほか御麗しく置かに大御い 製造にこれをうけさせられ、 御機 腕へざせられたと舞された由

▲人見久留於第一陸軍激備主官



改体結 善。質核

毘ョ

日本の一五〇〇個 日本の一五〇〇個 大量のビタミン 大量のビタミン

祭養に一等 が削り後・

界を表る言語がすず遺録論

弾る切りハに 力 をこる影響を 養剤ラセランの効果でドイク特許皮膚専門祭

アレ恢復・化粧下・ とある美しさとなり、肌からピチ (弾力

恒憲王殿下御進級 名古屋師團長に 陸軍定期異動發表

|補困値職験延司令官 間倉 問念 成不可,60 四 三

戰車軍團潰滅

に益々獨に有利

反樞軸軍 損害補塡は困難

響合れて、その獲得更力は今や羅 一致力・関係な緩緩が歴史遊に包 して、ルリン特電サ八日 をび襲撃機の監影影が痛動と、

未成立案は二十一件

五萬七千二百トン、一九四二十八百七十トン、同十二月は七十トン、同十二月は七二月は十二月は十三萬

感目到你明公前 (7) 非無不限 下版

東京・日本橋・空町

五、軍政の概況(个)

















合格お

 \emptyset

C

金鮮暇域の陣頭に立つて-

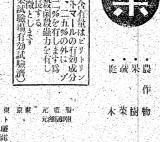
總督府の錬成始まる

不信鍵型場に向ふが、同地でて信鍵型場に向ふが、同地で

目覚し壮丁の訓練

新貝局長北京で語る





灣富取制有修繕 椅子卓子 W 界根質 2 [**西**]





神經科



けふの市況

特送高段后縣拔戰

新城税施行はすでに敵込

貯金/國/護』・印章/貯金/守』 10

中井印章部

田原株式店現物部

作 星 廣 告

9 源作: 中大柳花 明 志 宋 永 柳 和 3 章 男 七 章 東 田 志 宋 永 柳 和 2 喜 男 七 章 東 2 章 東 2 章 東 2 章 東 2 章 東 3 1 けとなること 朝鮮似 苛酷なえにした 引きずられ作ら 相逢ふ男女のご 月夜に流ず門附の粋な下町情緒の魅力あふれて鏡花一世の名作、映 物語!! 苓

精

三井悉五店 である内容説別出申込める三月相場の決戦に

育堂前ひかり

組

關壓